

イベント報告書

作成者：MORE 企画 白井ゆみ

作成日：2024/5/10

1.イベントの概要

タイトル	KAWANA Earth Festa 2024 (かわな あーすふえすた)
実施目的	コロナ禍で落ち込んでいた観光地へも国内外から客足が戻って来ている。その中で、周辺住民だけをターゲットとしたイベントではなく、観光客も立ち寄ることができるイベントの開催が注目されている。特に環境や健康に配慮された商品を提供するショップが連なる「エコマルシェ」が日本各地で開かれており、伊東市の観光業の活性化と環境への配慮を PR することを主な目的として、「Kawana Earth Festa2024」を開催。

2.イベントの詳細

内容	<ul style="list-style-type: none">環境に配慮した商品やサービス等の紹介と販売各店舗から排出されるゴミを減らすために、レンタル食器の導入（PADI 様）協賛品を寄付の返礼品としてお渡し、選べるお礼グッズ（イシグロ様、PADI 様）海岸清掃（事前のアナウンスを行い、一緒にゴミ拾い）「海ゴミ買い取りますプロジェクト」水中清掃を促すための試験実施協賛品の販売（海女屋様のところてん、えんのかま様の廃瓶を混ぜた陶器のお皿）回収してきたゴミを展示するブースの設置（買い取りますの横）
ターゲット	川奈へダイビングをしに来るダイバー、地元住民、観光客
期間	2024年 5月 4日 (土) 5月 5日 (日) 2日間
場所	川奈ダイビングエリア（駐車場～エントリー口間の壁沿い）
周知方法	<ul style="list-style-type: none">ダイビングサービスでのポスター、ダイビングショップへの DM ハガキSNS 等での事前告知や出店者の紹介
関係者	<p><u>MORE 企画</u>：静岡県の伊豆にて環境活動に取り組む、非営利団体（主催・運営・企画）</p> <p>会場：いとう漁協 川奈支所 川奈ダイビングサービス（企画・場所提供的）</p> <p>協賛：伊豆新聞、伊東市観光課、海上保安庁（MPS 伊東）</p>

出店者 合計 23 名	<p><u> nao's illustration</u> : お魚イラストのグッズ販売（売り上げを環境活動団体へ寄付）</p> <p><u> halehapakailii</u> : 海のレジンアート（アップサイクル商品）</p> <p><u> MIHANADA</u> : 水中ゴミ拾いポーチ（環境のことを考えた水中ゴミ拾いバッグ）</p> <p><u> HOSSY</u> : アルミ製の魚の洗濯ばさみ（脱プラスチックの洗濯ばさみがテーマ）</p> <p><u> まるまるどっぐす</u> : オーガニック、天城産伊豆鹿肉ジャーキー、河津川産天然鮎ジャーキー</p> <p><u> 彩*sai アート店</u> : ワンポイントフィンアート</p> <p><u> happy planet</u> : エシカル雑貨をハンドメイド、エコたわしやアップサイクルの販売</p> <p><u> TSUGU</u> : 海で見つけたカケラをアップサイクル、収益の一部を海洋汚染問題に取組む団体に寄付</p> <p><u> たけみごはん</u> : 野菜たっぷりの彩り弁当（化学調味料・白砂糖不使用、天然の塩使用）</p> <p><u> ハナのつむじ</u> : 伊豆の無農薬野菜お弁当、無農薬ジュース、自家焙煎珈琲、身体に優しいおやつ</p> <p><u> 珈ノ鳥珈琲</u> : バタフライカップを使用したノープラスチックコーヒー店</p> <p><u> くろいあひる</u> : 天然酵母ドーナツを無添加で販売、その場で揚げて提供</p> <p><u> ふりだやカレー</u> : 食材にこだわったエスニックカレー、ノープラスチック</p> <p><u> おむすび café</u> : 地産地消の身体に優しいおむすび、ノープラスチック</p> <p><u> Rainbow of grace</u> : エコ・安心・安全を心がけた美味しいカンパニユホットサンド</p> <p>DJ : masa&tomo&イムハQによる DJ ブース</p>
宣伝広報	<ul style="list-style-type: none"> Instagram にて広告 ダイビングショップへの DM 配布（タンクサービス券付き） ポスター、チラシの配布 ウェブサイト内での告知 メディア事前掲載（伊豆新聞、ダイビング WEB マガジン）
2023 年との変更点	<ul style="list-style-type: none"> 海ゴミを買い取るコーナーの設置（昨年は無し） ゴミを減らすためにレンタル食器の導入（昨年は実施無し） MORE 企画の受付寄付ブースの設置（昨年は設置無し） 出店数の増加（13 店舗→16 店舗） キッチンカーの出店（昨年は電源の関係で出せなかった） 拾ったゴミの一時置き場の設置（可視化するため） ゴミの回収量の大幅増加（60 kg→300 kg） 来場者の増加（160 名→481 名）

3. 実施実績

	4 日	5 日	合計
来場者（一般）	約 200 名	約 100 名	約 300 名
来場者（ダイバー）	104 名	77 名	181 名
ビーチクリーン	50 名	15 名	65 名
回収ゴミの量	200 kg (ビーチ・水中)	100 kg (ビーチ・水中)	300 kg
ゴミ買い取り企画 (予算 10,000 円)	参加 35 名のダイバー 3,500 円分	参加 19 名のダイバー 1,900 円分	54 名のダイバー 5,400 円分

4.実施の様子と内容

会場	時間	両日 09:00～15:00
	来場者数	約 481 名 (ダイバー含む)
	出店数	16 店舗
	内容	環境フェスティバル
会場の様子		         

海岸清掃	時間	11:00-11:30
	参加者数	2日間で計65名
	内容	いるか浜の清掃、川奈ビーチ EN,EX スロープ横
	清掃の様子	     

5.その他・感想 (SNS やメッセージで届いた声 & 会場で聞いた声まとめ)

みんなの声	<p><良い点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの買い取り企画は目から鱗！思いつきもしなかった。良いきっかけになる ・海の傍のイベントはとても気持ちがいい。毎日出店して欲しい ・DJ の音楽と景色が最高にマッチしていた ・ここまで環境に配慮している商品や食べ物だけが並んだマルシェはじめて来た ・会社でも CSR の活動はどんどん広がっているので、これでダイバーの意識も上がって欲しい ・ゴミがたくさん出るマルシェが多い中で、今回はゴミがなく良かった ・ダイビングに来るとコンビニ飯になりがちだから、身体に良い地産地消が食べられて嬉しい ・とにかくロケーションが最高！！ ・MORE 企画を知らなかったけど、こんなに良い活動をしているのを知れてよかったです ・ダイバーとしてできることが以外にもたくさんあるのだと知れた ・山のゴミと海のゴミが繋がっていることをこれまで考えていなかったので、勉強になった ・ゴミ拾いはしているけど、ゴミを出さない工夫はできていなかったのでこれから頑張る ・天然のところてん美味しかった！初めて食べた！ ・100 円をもらうために、ゲーム感覚でゴミ探しができた。魚そっちのけで探した ・飛び込みでビーチクリーンをしている人がいた。常時、道具の貸し出しをしてもいいかも ・海上保安庁の人たちに会えると思わなかった。嬉しかった！ ・普段、他のお店の人と話すことはないが、今回は「行ってらっしゃい」など声掛けしてくれて嬉しかった。基本的にワイワイするのが好きなので、いつもブースが出ていると良い <p><改善点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントがあること知らず、ダイビングショップが用意したお弁当を食べてしまった ・駐車場がわかりづらかった（遠くにとめてしまった） ・日影がなくて商品に直射日光が当たてしまって困った ・レンタル食器への促しが難しかった（初日は、一か所で貸し出していたため） ・前を通らなかったので、食事が売っていることを知らずカップラーメンを食べてしまった ・イベントを知っていたら、川奈をリクエストしていた。行けなくて残念… ・ビーチは風が強くて、袋にゴミを入れづらかった ・朝のうちにご飯を予約しておけばよかった。食べようと思った時には売り切れていた
運営の感想	<p>今回、レンタル食器の導入や海ゴミ買い取りの導入は試験的に実施しました。レンタル食器に関しては、初日「50 円で借り放題」としましたが、結局来場者が一か所に置かれた食器を取りに来なければならず、またそれを店頭で説明する手間もあったためなかなか上手く機能しなかった（テイクアウト容器を持って歩いている人が 7 割以上だった）そこで、翌日はレンタル無料にして、各店舗に必要な食器を配布。基本的には、洗える食器で提供することをお願いをした。結果、使用者の割合は逆転しどんどがレンタル食器で飲食を楽しんでいた。（洗浄は大変になったが、そこは役割分担でカバー）店舗側からも、「ゴミが減ってとても助かるし、プラスチック容器で食べるよりも、洗えるお皿で食べてもらった方が売る側も嬉しい」との声を全店舗からいただいた。海ゴミ買い取りは、今回 1 万円の予算をつけて無くなるまで買い取るとし、5,400 円分 (54 回) の水中ゴミ拾いが実現した。新しい切り口で面白くゴミ拾いを広げる試みとして新聞にも取り上げられ、これから同じようにこの企画を導入するゴミ拾いイベントが増えることを願う。来年のGW へ向けて、火気使用と課題を解決していく。</p>

「将来的に陸上も」



伊東市の環境啓発団体 MORE(モア)企画】(白井ゆみ代表)は、ダイバーが海中で拾ったごみを独自買い取る取り組みを始めた。海中ごみに关心を持つてもらうのが狙いで、重さの関係無く一律100円で買い取る。白井代表は「ごみをきれいな海や魚を楽しむために捨てる。将来的には陸上ごみの買い取りも実施し、取り組みの輪を広げたい」と展望を語る。

(本社取材部 秋山裕姫)

海中に見過しがちなごみが気つく機会を与えるよう企画した。ごみ拾いバックを無償で貸し出し、量や重さに関係なく買取る。買い取り資金は協賛金を充てる。

4月に川奈港周辺を開いた環境イベント「KAWANAアースフェスタ2024」(伊豆新聞本社後援)で1方円を限って買い取りバースを設けた。30人以上のダイバーが協力した。意図などと潘空き缶やプラスチックエリット

「今年の苗 生育良好」

十足で田植え始まる



伊東市内での田植え作業が始まっている。大通り休に合わせて親類や知人が集まって作業しており、4月は十足で数軒の農家が汗を流した。したがって、川奈には全体でらうねほり水田があり、例年、川奈の川奈ダイビング

MORE企画

環境活動 ダイバー協力 「海中ごみ買い取ります」



伊豆新聞本社
伊東市鏡田1290-6
〒414-0054

電話 0557(36)1234
FAX 0557(36)3969 編集
FAX 0557(36)2691 営業
伊豆新聞デジタル
<https://digital.izu-np.co.jp>



伊東魚市場仲買人
寿司・海鮮丼・魚料理
ダイクアウト・地酒
伊豆太郎
川奈店 TEL:45-5234

2024年5月4日の伊豆新聞、一面でカラー

KIZUMI DIVING RESORT

川奈の港で

自然と身体に優しい

ダイバーイベント開催

美味しいご飯と珈琲も堪能♪

みんなでごみ拾い 昨日11時~11時半

海に優しい商品をGET

EARTH FESTA

2024 9:00- 15:00

5/4 土 **5/5 日**

【イベント詳細】
日時: 2024/5/4・5 9時~15時
場所: 川奈ダイビングサービス
住所: 静岡県伊東市川奈699-2

【出店】
身体と環境に優しいランチやスイーツ、コーヒー、エコ商品(蜜蠍ラップ、ごみ拾い袋、エコたわし、アクセサリー、HOSSY等)、ごみ拾い道具無料貸し出しコーナー、エコ食器でまわるご飯屋さんシステムなど新しい取り組みと出店数増加予定!

【イベント詳細】
日時: 2024/5/4・5 9時~15時
場所: 川奈ダイビングサービス
住所: 静岡県伊東市川奈699-2

【出店】
身体と環境に優しいランチやスイーツ、コーヒー、エコ商品(蜜蠍ラップ、ごみ拾い袋、エコたわし、アクセサリー、HOSSY等)、ごみ拾い道具無料貸し出しコーナー、エコ食器でまわるご飯屋さんシステムなど新しい取り組みと出店数増加予定!

こどもと一緒に 2024 ビーチクリーン

5.4 SAT * 5.5 SUN

11:00-11:30 in いるか浜海岸

動きやすい格好で来てね

参加無料 申込不要

【お問い合わせ】 MORE企画 070-7542-7902 sea.ocean.beach.2086@gmail.com

【協賛】 伊東市観光課、伊豆新聞、日本財團

【QRコード】

イベント全体のポスター

ビーチクリーン用のポスター

